授業科目名・形態	老年看護学福祉実習　　実習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	黒澤繭子・工藤智美・千葉美穂	実務経験の有無	有	開講期	3 年前期・後期
科目ナンバリング	N6-3009npmht				

【授業の主題】

1．老年期にある対象を包括的に理解し、高齢者の尊厳ある暮らしを実現するための援助の実際を学ぶ。
2．施設の他職種の役割と連携の重要性を理解し、チームにおける看護師の役割を理解する。

【到達目標】

1．施設で生活する高齢者への日常生活援助や健康管理を通して、高齢者の特徴を身体的・心理的・社会的側面から理解できる。
2．対象の生活史や価値観の理解を深め、高齢者に尊厳をもって関わることができる。
3．対象の加齢や疾患、障害による日常の生活機能への影響を包括的にアセスメントし、対象の持てる力に着眼した自立支援の重要性を理解できる。
4．高齢者の施設での生活を支える他職種の役割を理解し、連携の重要性とチームにおける看護師の役割を理解できる。
5．介護老人福祉施設、及び介護老人保健施設の役割と機能を理解し、地域包括ケアシステムにおける各施設の位置づけを理解できる。
6．短期入所生活介護、及び短期入所療養介護の利用者、及びその家族のニーズを捉え、地域で暮らす高齢者等とその家族を支えるための他機関との情報共有の必要性が理解できる。
7．高齢者との関わりを通して、自己の老年観を養う。

【授業計画・内容】

実習計画・内容は「老年看護学福祉実習要項」に基づき実施する。詳細は実習オリエンテーション時に説明する。

【授業実施方法】

臨地実習

【授業準備】

事前学習課題に加え、高齢者の老化による変化や高齢者特有の健康障害と看護、及び介護保険施設の役割と機能等について復習しておくこと。

【主な関連する科目】

「老年看護学概論」「エイジング論」「老年看護学方法論Ⅰ」「老年看護学方法論Ⅱ」「病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（精神科）」

【教科書等】

「老年看護学概論」「老年看護学方法論」「エイジング論」の授業で使用した教科書や資料など

【参考文献】

適宜提示する

【成績評価方法】

実習評価（60%）、事前学習課題・課題レポート・実習記録等（40%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

地域でのケアマネジメントや特養での管理職としての経験を、高齢者を取り巻く制度等の変遷を踏まえながら、学生が高齢者の尊厳の保持と自立支援について深く考察することができるよう活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

老年看護学福祉実習では、健康管理や日常生活上のケアを通して、多様な状態像にある高齢者に関わる機会が多々あります。状態に応じたコミュニケーションの方法や援助技術についても復習し、実習に臨んでください。